



鞠智城をもっと身近に～地域連携の取組～

歴史公園鞠智城・温故創生館では、鞠智城をもっと多くの方に知ってもらうため、県内各地域で周知活動を展開しています。各市町村教育委員会と連携し、その地域の文化財とも関連づけながら、皆さんに鞠智城を紹介する取組を続けています。



五木村 ヒストリアテラス五木谷での展示



芦北町立図書館での展示



ころう君巡回の様子



トークイベントの様子



かりうち体験の様子

パネル展では地域の文化財紹介や学芸員によるトークイベント、ころう君の巡回、かりうち体験教室などを実施しています。地域とのつながりを大切にしながら、これからも多くの方に文化財と鞠智城を知っていただく機会を広げていきます。

鞠智城ホームページ <https://kofunkan.pref.kumamoto.jp/kikuchijo/>



古墳館へ5・5・GO！に参加しよう

山鹿市鹿央町にある県立装飾古墳館では、令和8年度の体験イベントとして、令和8年(2026年)5月4日と5日に、「古墳館へ5・5・GO!」を開催します。

このイベントでは、県内外の博物館や教育施設と地元の方々に出展をお願いし、勾玉づくりをはじめとして、出展者による楽しい体験活動をご用意しており、皆様のご来場をお待ちしています。

また地元の物産品やお弁当の販売や美味しいパン屋さんの販売なども予定しています。

事前申し込みが必要な体験もありますので、詳しくは装飾古墳館ホームページをご確認ください。

五月の連休は装飾古墳館で一日体験に参加してみませんか。



古代衣装体験



勾玉づくり



ころろ君とバスボムづくり



熊本県立装飾古墳館HP
<https://kofunkan.pref.kumamoto.jp/>

この記事に関する問合せ先: 県立装飾古墳館(0968-36-2151)

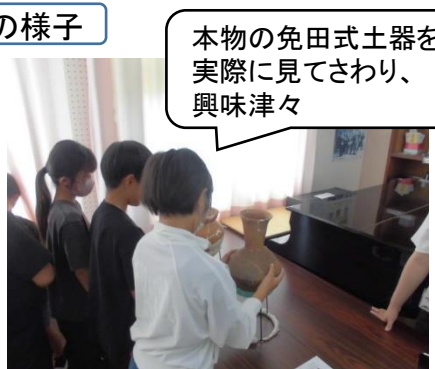
熊本地震及び令和2年7月豪雨被災文化財情報発信出前授業 ～小中12校で文化財に対する関心が大幅に向上～

文化課では、平成28年熊本地震及び令和2年7月豪雨で被災した文化財の復旧の様子を伝え、子どもたちが文化財の大切さについて学び・考える授業を実施しています。出前授業実施後に子どもたちに回答してもらったアンケートでは、文化財への関心が約56%から約92%に高まったという結果が出ています。



文化財〇×クイズ面白い。先生たちには負けないぞ！

授業の様子



本物の免田式土器を実際に見てさわり、興味津々

授業のながれ

- 1 熊本地震(令和2年7月豪雨)の被害について振り返る
- 2 被災した文化財の被災状況と復旧に向けた取組について知る
- 3 文化財の復旧や保存の必要性について考える
- 4 学芸員の説明を聞き、自分たちの地域の文化財について理解を深める

これからも地域の文化財を守り、受け継ぐ担い手たちを育ていけるよう活動していきます。令和8年度も実施予定ですので、たくさんの御参加をお待ちしております。授業の様子は、文化課SNSで紹介しています。

この記事に関する問い合わせ先: 文化財資料室(0964-28-4933)



X



Instagram



Facebook



公立中学校における部活動の地域移行

熊本県教育委員会では、令和5年度から中学校部活動の地域移行を進めています（熊本市を除く）。

1月30日に県教育委員会主催でシンポジウムを開催しました。シンポジウムでは、重点地域としての取組を南関町と大津町に発表していただきました。今回は、その内容をお知らせします。

※重点地域とは

スポーツ庁は、地域スポーツ環境の整備を先導的に進める地域として、熊本県を含む10県を「重点地域」に指定しました。県内では、南関町と大津町が県と連携しながら、地域移行に伴う課題解決に向けた取組を実施しました。



南関町の取組

ワークショップや地域イベントを組み合わせながら、生徒が主体的に部活動や地域クラブ活動に関わることができる環境づくりを進めました。

ワークショップ

生徒たちが、「自分たちが担うことができる部活動での役割」や「部活動にはない、地域と協力してやってみたい活動」などをテーマに意見を出し合いました。

体験会

「リズムジャンプトレーニング」、「Tボール」などの活動や「ストレッチ」、「アイシング」などのコンディショニング研修を行って、スポーツへの関心を高めました。

イベントの企画・運営

町民参加型イベント「なんかんスポーツDAY」において、生徒自らブースの企画・運営を担当して、地域住民と交流しながら、活動を主体的に創り上げる経験を積みました。



大津町の取組

指導者不足の課題を解決するために、大学と連携して、部活動指導のアシスタントとして大学生を活用する取組、基礎技術やトレーニングをまとめた動画コンテンツの作成を行いました。

大学生の活用

7つの部活動に、のべ48名の大学生がアシスタントとして参加しました。生徒からは、「詳しく教えてもらってよかった」との声が寄せられ、大学生からも「教員を目指しているののでよい経験になった」との感想があり、双方によって有意義な取組となりました。

動画コンテンツの作成

生徒の自主的な活動を促すとともに、専門外の種目を指導する教員の支援となるよう野球、バスケットボール、コーディネーションの動画を作成しました。動画を活用しながら活動する部活動もあり、教員が示した動きを動画で確認しながら練習に取り組んでいます。生徒が効率的に技能を習得することにつながりました。

シンポジウムの内容は、ホームページからご覧いただけます。
「運動部活動」に掲載中です。



この記事に関する問い合わせ先

運動部活動：体育保健課（096-333-2722）

文化部活動：義務教育課（096-333-2689）



くまもとの笑顔・未来を創る児童生徒表彰受賞者決定

県教育委員会では、誰かのために、地域社会のためにひたむきに頑張っている児童生徒を励まし、熊本を笑顔にする児童生徒の善い行いを讃える「くまもとの笑顔・未来を創る児童生徒表彰」を行っています。今年度は、10月末までの活動の推薦を募集し、受賞者・団体を決定しました。熊本を笑顔にする児童生徒の善い行いの一部をご紹介します。

推薦数：47件 特別賞：個人9件、団体1件 入賞：個人22件、団体15件

＜地域貢献活動＞

玉東町立玉東中学校

令和7年（2025年）8月10日の豪雨後、被災した町中央公民館の復旧作業に自発的に参加し、一日でも早い復旧を願って、土砂の撤去や水没した物品の回収・整理などに取り組みました。地域社会との絆を深める貴重な機会となりました。



＜人命救助＞

熊本県立翔陽高等学校

3年 岩根 悠人 さん

令和7年（2025年）7月、駅で倒れた方を発見して、救急車の要請及び現場での誘導、倒れた方の介抱を行いました。後日、JR職員から、深く感銘を受けたと学校へ連絡がありました。



この記事に関する問合せ先：義務教育課（096-333-2689）

令和7年度（2025年度）人権教育の指導方法等の工夫・改善実践協力校の取組



県教育委員会では、「人権教育の指導方法等の工夫・改善パンフレット『実践行動につなぐ』3つのアプローチ」を基に、自他の人権を大切にする実践行動のできる児童生徒の育成に取り組む実践協力校を指定しています。

今年度の取組の様子を紹介します。



八代市立第三中学校



教材をもとに「差別を生まないために必要なこと」について学級で考えを深める人権学習を実施。

玉東町立木葉小学校



全ての学級で、課題を「自分のこととして捉える」人権学習を実施。

玉東町立山北小学校



各教科等で、「人権が尊重される授業づくりの視点」を取り入れた授業を全学級で実施。

過年度の実践協力校の様々な工夫・改善の取組は、人権同和教育課ホームページに掲載しています。

この記事に関する問合せ先：人権同和教育課（096-333-2702）

今年度の取組も掲載予定です。



令和7年度(2025年度)

「熊本の心」優秀作文 決定！

県教育委員会では、児童生徒が、郷土熊本がもつ豊かな自然やその風土が育んできた伝統や文化から学び、郷土に対する愛着を深めるよう、「熊本の心」(助けあい 励ましあい 志高く)の普及・啓発に取り組んでいます。

7月1日～9月19日の期間、県内在住の小・中学生及び高校生以上を対象として、「熊本の心」作文を募集したところ、3,479点の応募がありました。

作文審査の結果、最優秀賞及び優秀賞が決定しました。



熊本県教育委員会賞を受賞した工士 涼平さん



上段:各団体の授与者
下段:被表彰者7名



「熊本の心」推進協議会賞を受賞した那須 心琴さん

1 最優秀賞

熊本県教育委員会賞	くし りょうへい 工士 涼平	宇土市立走潟小学校	小2	「オトケサボウ」を読んで
「熊本の心」推進協議会賞	なす みこと 那須 心琴	錦町立一武小学校	小4	ささえ合う人になるには

2 優秀賞

熊本県文化協会賞	やまだ さよ 山田 紗世	荒尾市立八幡小学校	小6	熊本地震から学んだこと
熊本公徳会賞	みやざき あみ 宮崎 彩未	上天草市立中北小学校	小1	みんなのどうぶつえん
熊本日日新聞社賞	ひろせ ふみや 廣瀬 文哉	熊本県立八代清流高等学校	高1	妙見祭で見た景色
熊本県地域婦人会連絡協議会賞	きのした ともか 木下 友花	上天草市立大矢野中学校	中2	「人を笑顔にする」未来へ
熊本県PTA連合会賞	たなか せつこ 田中 節子	熊本県立ゆうあい中学校	中2	私とゆうあい中学校

表彰者の作文は、熊本県教育委員会HP(「令和7年度『熊本の心』優秀作文」)をご覧ください。

<https://www.pref.kumamoto.jp/site/kyouiku/222985.html> (右の二次元コードからもご覧になれます)



この記事に関する問い合わせ先: 社会教育課 (096-333-2697)



令和7年度(2025年度) 熊本県学力・学習状況調査結果 ～「学びの主体性」や「読み解く力」を高めるために～



本県では、全国学力・学習状況調査(4月実施)を踏まえ、9月から課題の改善に向けて、「教科書を使いこなす」「学習用語を理解する」「読み取る力を高める」ことに取り組んできました。このたび、「熊本県学力・学習状況調査」(小学校3～6年生、中学校1・2年生が対象)の結果がまとまりましたのでお知らせします。

教科に関する調査結果

※数値は、県の平均正答率(%)を示しています。
※調査結果の詳細はこちら → <https://www.pref.kumamoto.jp/site/kvouiku/list179-667.html>

	小学3年生	小学4年生	小学5年生	小学6年生	中学1年生	中学2年生
国語	75.4	72.2	73.5	72.3	58.2	53.9
算数・数学	74.9	72.4	68.0	77.1	54.7	49.2
英語	—	—	—	—	53.4	47.9



【成果と課題】

- 国語 ○小学校で主語と述語の関係や修飾語について理解できていた。
●小学校中学校ともに、原因と結果など文と文の関係や段落と段落の関係、文章の構成を読み取ることに課題がある。
- 算数・数学 ○小学校の変化と関係領域については、特に理解できていた。
●小学校中学校ともに、文章と図や式を結び付けて記述する問題に課題がある。
- 英語 ○基本語彙を用いて日常的な話題の概要を聞き取ることはできていた。
●文法の意味や用法を理解する内容に課題がある。



質問調査結果

※「当てはまる」+「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合を示しています。

		小学校	中学校			小学校	中学校	
主体的・対話的で深い学びの観点	【重点指標1】 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思いますか	75.1%	74.4%	本県重点取組	国語	【小3・4】国語のじゅぎょうで、目てきをもってせつめい文を読み、大事な言葉や文を見つけていますか 【小5～中2】国語の授業で、目的に応じて説明的な文章を読み、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けていますか	75.5%	74.3%
	【重点指標2】 授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していると思いますか	67.2%	62.4%					
	【重点指標3】 国語の授業の内容はよく分かりますか	85.0%	81.6%					
	算数(数学)の授業の内容はよく分かりますか	80.6%	65.7%					
授業の理解度	外国語(英語)の授業の内容はよく分かりますか	80.0%	64.5%	算数・数学		【小3・4】算数のじゅぎょうで、式や表、グラフに表されていることの意味が分かりますか 【小5・6】算数の授業で、式の意味を理解したり、表やグラフから分かることを理解したりすることができていますか 【中1・2】文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、かかれていることを理解することができていますか	83.7%	64.5%

結果の分析から

授業の理解度と読み解く力と学力調査の結果には相関があり、各教科の内容がよく分かるためには、教科書や問題を読み解く力を高める必要があることが分かりました。各教科等の学習の基盤となる読み解く力の向上に向けて取り組んで参ります。

児童生徒一人一人の課題克服に向けて

県教育委員会では、調査後に児童生徒一人一人へ、県学力・学習状況調査の結果を示した個人票や児童生徒用Webカルテ(マイカルテ)、デジタルドリル教材等を提供しています。

保護者の皆様へ

各学校では、調査結果の個人票を基に、一人一人の学習意欲を高める具体的な助言を行うとともに、読み解く力を高めるための授業改善などに注力して参ります。

御家庭におきましても、お子さんの頑張りを認め、ほめ、励ます温かい関わりを大切にいただければ幸いです。また、教科書を共に開いて内容を話題にすることなどを通じて、日々の学びを支えていただきますよう、御協力をお願いします。





くまもとICTコンテスト (ICT活用コンテスト: 県教委主催) 優秀作品が決定

熊本県教育委員会では、児童生徒の興味関心を引き出し、情報活用能力やICT操作スキルの向上等を目指し、毎年「くまもとICTコンテスト」を実施しています。

児童生徒を対象とした「プレゼンテーション部門」と、教職員を対象とした「ICT活用指導部門」の優秀作品を紹介します。

「プレゼンテーション部門」(児童生徒対象)

賞名	学校名・学年	タイトル
最優秀賞	氷川町宮原小学校 小学校4年生	通潤橋のまとめ
最優秀賞	高森町立高森中央小学校 小学校5年生	水産業が盛んな地域
最優秀賞	高森町立高森中央小学校 小学校6年生	私たちの探究がふるさとの未来を創る
優秀賞	氷川町宮原小学校 小学校4年生	通潤橋のまとめ
優秀賞	氷川町宮原小学校 小学校4年生	通潤橋のまとめ
優秀賞	高森町立高森中央小学校 小学校5年生	十年屋
優秀賞	高森町立高森中央小学校 小学校5年生	水産業の盛んな地域 - 鹿児島県 -
優秀賞	山江村立山田小学校 小学校6年生	山江村の人口について
優秀賞	山江村立山田小学校 小学校6年生	山江村の特産品

「ICT活用指導部門」(教職員対象)

賞名 (カテゴリ名)	学校名・実践者名	タイトル
最優秀賞 (授業改善)	高森町立高森中央小学校 大津 遼	高森町の未来を創る！魅力発信プロジェクト
最優秀賞 (情報モラル)	高森町立高森中央小学校 大津 遼	生成AIの活用に向けた研修・授業
最優秀賞 (その他)	熊本県立水俣高等学校 塩田 翔吾	生徒自ら見通しを持って主体的に取り組む連絡シートを活用したHR運営の実践
優秀賞 (授業改善)	津奈木町立津奈木小学校 江口 征史郎	外国語科における個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の探求～音声や振り返りを記録、蓄積するデジタル学習基盤の活用と授業改善の取り組み～
優秀賞 (授業改善)	嘉島町立嘉島西小学校 高森 崇史	「可視化×対話×ICT」で挑む！ ICTで拓く授業改善

同時開催の「Dx-NEXT夢コンテスト」についてはこちらから
<http://www.nextkumamoto.or.jp/yumecon/2025/nextyumecon2025.html>

学校へのご理解・ご協力いつもありがとうございます
子供たちへのより良い教育のためにさらなる学校へのご協力をお願いします

教職員を取り巻く環境

教職員の勤務の現状

□1か月あたり45時間を超えて時間外勤務をしている教職員が、市町村立学校では約3人に1人
県立学校では約4人に1人 います。

□さらに、約4%の教職員が過労死ライン(月80時間)以上の時間外勤務をしています。

教職員の健康を守り、子供と向き合う時間を確保し、教育の質を高めていく必要があります！

時間外勤務時間の目標

令和11年度までに月45時間以内の教職員の割合100%を目指します。
〔 R6実績 市町村立71.7% 県立77.6% R9目標 市町村立85% 県立90% 〕

熊本県教育委員会の取組

熊本県教育委員会では、6つの方針に基づき、学校の働き方改革を推進しています。

方針① 人材の確保・活用	方針② 業務の削減・効率化	方針③ 教職員の意識改革
・新たな教職員の確保 ・支援員や専門人材(外部スタッフ)の配置を強化 等	・校務DX(生成AIの活用等)の推進 ・部活動改革の促進 ・登下校の日常的な見守り活動の廃止 等	・民間企業等による業務分析・課題解決 ・年次有給休暇、男性育休の取得促進 等
子供たちへのより良い教育のため 目標：教職員のウェルビーイングの向上 時間外在校等時間のさらなる縮減		
・ICカード等による客観的な勤務時間管理 ・持ち帰り業務防止 ・休憩時間の適正な付与 等	・PTAへの働き方改革の取組の提供 ・登下校の見守り活動への協力依頼 ・地域学校協働活動の推進 等	・専門家によるメンタルヘルス相談窓口の設置 ・労働安全衛生法に関する研修 等
方針④ 勤務時間の適正管理等	方針⑤ 保護者等の理解促進	方針⑥ 教職員の健康サポート

※プランの詳細は、
こちらからご確認ください。
↓↓↓↓↓↓



保護者・地域・関係団体の皆様へのお願い

学校の働き方改革は、保護者・地域の皆さまのご理解とご協力が欠かせません。
未来を担う子供たちのために、次の取組へのご協力をお願いいたします。

登下校の見守り活動

保護者・PTAや地域ボランティア等、各種団体の行う登下校時の見守り活動にご協力をお願いします。

連絡ルールの遵守

勤務時間外(夜間・休日)の電話対応等は原則行っていない。
「学校閉庁日」等の取組にご理解ください。

部活動の地域移行

休日の中学校部活動の地域連携・移行へのご理解とご協力をお願いします。